

12月



サンタクロース

サンタクロースとはいったい誰なのでしょう？それは3~4世紀に実在した守護聖人「聖（セント）ニコラウス」。ヨーロッパでは12月6日の聖ニコラウスの日、赤い司祭服を着たニコラウスがペテロを連れて子どもたちの行いを調べに来て、よい子にはプレゼントを配るといふ風習があります。この聖ニコラウスはオランダで「シンタ・クラス」と呼ばれ、それが「サンタクロース」の語源になったといわれています。また、クリスマスのことをフランス語では「ノエル（新しい太陽）」、ドイツ語では「ヴァイナハテン（神聖な夜）」、イタリア語では「ナターレ（誕生した）」といひます。

子ども歳時記

日本には、季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。



1月

門松

年始を祝う正月には、玄関に松や竹などを飾り、しめ（注連）を張って年神様を待ちます。正月にまつわるものには家族の幸福を願う気持ちが込められています。竹は一節ごとすくすく成長します。常緑樹である松、柊、宿り木、月桂樹、楠などは縁起のよい木とされています。また、しめ縄は「標縄」とも書き、特別の場所のことで、いわれを心にとどめると、より豊かにその日を迎えられます。正月は1年を健やかに暮らしていくためのエネルギーを蓄える始まりの伝統行事です。家を清め、よい言葉でコミュニケーションを行い、栄養のバランスに優れたおいしいものを食べましょう。

住環境コーディネーター
引地



子育て親育ちエッセンス

サークル「やんちゃんこ」
代表 濱田 英世

今回は「子どもたちに本当にさせたいことは何か」について、つまり私たち大人が「親として何のためにするのか、なぜ今させるのか、という考えをきちんと持っておきましょう」というお話をします。

例えば「ごはんを食べる時は椅子に座るようにする」「おはよう・ありがとう・ごめんなさいが言えるようにする」などは、どのおうちでもまず、最初に教え、しつけていくことですよ。それはもちろん、最低限のモラルとして「させなければならないこと」の代表格ですから、皆さんきちんとされています。少し横道に逸れますが、この「ごはんを食べさせること」に関しては、悩まれているお母さんが多いようです。何としてでも食べさせたい一心で「最後には遊ばせながらも口に無理やりご飯を運んでいるのですがいいのでしょうか」とよく聞かれます。一生懸命つけることは大変よいことですが、遊び出した時点でもうその子にはごはんへの関心がなくなっているの、そのような時はもうきっぱり「ごちそうさま」と止めさせることです。だらだらさせることより、次の食事の時間までにお腹が空いても知らんぷりをして、ごはんの時にはしっかり食べないといけなないのだ！と思わせるようにもっていくことが大事です。

これらは基本的な生活習慣と言われる内容のものですが、では「習い事・お稽古事」と言われるものはどうでしょう。これらは特に「いつ・何のためにするのか」、その意味と目的をしっかりと子どもと共有することが必要です。高いお金が関係してくるものですから、ただ単に「お友だちが行っているから」とか「楽しそうだから」は無意味ですよ。お友だちがを理由にすると、いずれ大きくなって「友だちもゲームセンターに行っているから僕もお金ちょうだい」「僕も行って」と、何の抵抗もなく言う子どもに育ちます。

また「楽しそう」の価値観はそれぞれです。「楽しそう」ではなく「楽しい」ものなのかどうかを見極めなければなりません。つられて

何となく始めた人に限って「初めは楽しいと行っていただけ、もう止めました」という結果が多いのは確かです。次から次へと習い事のハシゴをされる方もいますが、そこでちょっと「本当にさせたいこと」なのか、「なぜ今なのか」、もしかしたら親の勝手や見栄のために子どもを振り回していないかを、もう一度考えてみて下さい。

こんな話もよくあります…「下の子が生まれるので、上の子を幼稚園に入れようと思います」。その気持ちはよく分かります。2人も家にいたらどうなるのだろうと不安になる気持ちもよく分かります。でも、子どもはそれを望んでいるでしょうか？「何のためにするのか」、それをよく考えてください。幼稚園に行くということは、赤ちゃんがいる中で、まだ1人で何もかもをできない上の子に毎朝服を着せて、ごはんを食べさせて、バスに乗せたり、連れて行ったりしなければならぬ生活がやってくるということです。決して「ラク」ではないのです。その覚悟がないと、もしかしたら「早くしなさい」とかえってイライラするストレスを増やすことにもなり兼ねません。そういうことをいろいろ考えた上で「なぜ今なのか？」「本当に今なのか？」という最善の判断をしてください。

たくさんの情報が溢れている世の中で求められるのは、外注産業に流されることなく、どれだけ大人が正しい情報を選び、わが子をどのように育てていくのかという理念をいかにしっかり持っているかということだと思います。かしい親になりましょう。いつからですか？もちろん「今から」でしょう！

わいわいステーション (利用料：無料) サークル「やんちゃんこ」
場 所：南塚口町2-4-23 アラカサビル4階 とも同じビルでの活動です

(阪急塚口駅より東へ徒歩1分)

開 室：火～土 10:00～16:00

TEL・FAX：06-6421-8841

<http://www1.ocn.ne.jp/~children/index.html>

